トステム株式会社

レーネテラスⅡ〈入隅仕様〉取付け説明書

MAF-744B
7-0102

●お願い…入隅以外の組立て・取付け及び施工上のご注意・製品の取扱いについては、レーネテラスⅡ本体に同梱してある取付け説明書をご覧ください。

■作業手順

1 柱位置出し・基礎穴掘り
↓ → 垂木がけの切断・加工
2 垂木がけの取付け
↓ → 棟木の切断・加工(出幅3尺・5尺)
3 棟木への部品取付け
↓
4 柱の取付け
↓
5 棟木と垂木がけの接続
↓ 1500形の場合 → けたの切断・加工
600形の場合 6 けたの取付け
→ 前枠の切断・加工
6 7 前枠の取付け
→ 垂木・野縁の切断・加工
7 8 垂木・野縁の取付け
↓
8 9 前枠雨樋部のシーリング
→ 屋根パネルの切断
棟木カバーの切断・加工(出幅3尺・5尺)
9 10 屋根パネル・棟木カバーの取付け

■部材の加工寸法

●専用部材寸法　単位:mm

出幅(D)	入隅棟木(ℓ)	入隅棟木カバー(ℓ)
3尺(885)	1150.5	1264
4尺(1185)	1579	1692.5
5尺(1485)	2007	2120.5
6尺(1785)	2433.5	2547

※出幅4尺と6尺が規格サイズです。
3尺・5尺用の場合は、表に基づき切り詰めてください。

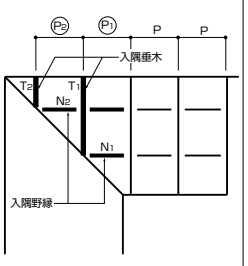
〔参考〕・入隅棟木切詰め寸法公式
=(D−D1)×1.425
取付け時
直近上位規格サイズ

・入隅棟木カバー
入隅棟木カバーℓ＝入隅棟木ℓ ＋113.

●入り隅部垂木・野縁寸法表　単位:mm

出幅	垂木 T1	垂木 T2	屋根材カバー T1	屋根材カバー T2	野縁 N1	野縁 N2
3尺	232.5	−	330.5	−	−	−
	170.5	−	268.5	−	−	−
4尺	475.5	−	573.5	−	757	−
	475.5	−	573.5	−	757	−
5尺	840	−	938	−	178	−
	778	−	876	−	118	−
6尺	1111.5	305	1209.5	403	687	681
	1050	244	1148	342	687	621

※ 上段：760スパンの時
下段：820スパンの時



●各部材寸法算出公式・寸法表
・前枠＝(P×S)+20
・けた＝P×S
・垂木掛け＝(P×S)+D+202.5

出幅(D)	D	S 1間	S 1.5間	S 2間	S 2.5間
3尺	885	1	2	3	5
4尺	1185	1	2	3	5
5尺	1485	−	1	2	4
6尺	1785	−	1	2	4

単位:mm

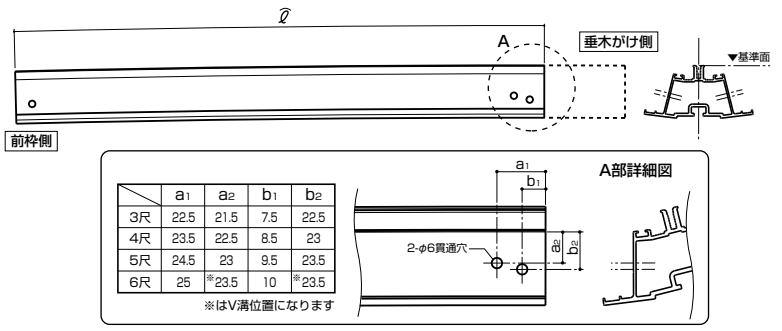
タイプ		P	P1	P2 (6尺のみ)
関東間	4尺	760	820	760
	4尺以外		760	
関西間 九州四国間		820	820	820

■部材の加工・取付け上のお願い

①屋根部材の加工方法は、垂木ピッチ本位で算出するものです。すなわち、垂木ピッチが通常より狭くなる場合はすべて切り詰めます。そのため、タイプによっては切詰め長さが長くなる場合もあります。
(入隅部分以外での屋根パネルの切断はありません。)
②現場・躯体の状況により、各部材の寸法は異なる場合がありますので、施工の際は調査・検討の上、加工してください。
③垂木がけの垂木取付け穴は下図姿図に従って、右図加工図上の▲印の位置に加工してください。
④1間×5尺・1間×6尺は製作不可です。
⑤関東間4尺の場合に限り入隅部垂木ピッチは関西間ピッチ（Ⓟ=820）にしてください。
⑥間口2.5間ベースで組み立てる場合、及び1500形の場合は、必ずけた付きにしてください。

■部材の加工

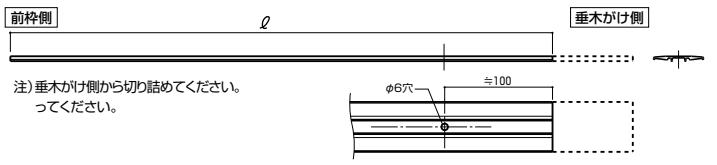
●入隅棟木(出幅3尺、5尺の場合)　注)・3尺・5尺用は下図のように垂木がけ側を切り詰めてから穴加工を行ってください。
・4尺・6尺は切り詰めずに、穴加工のみを行ってください。
・ℓ寸法は図中の基準面を計測してください。



	a1	a2	b1	b2
3尺	22.5	21.5	7.5	22.5
4尺	23.5	22.5	8.5	23
5尺	24.5	23	9.5	23.5
6尺	25	※23.5	10	※23.5

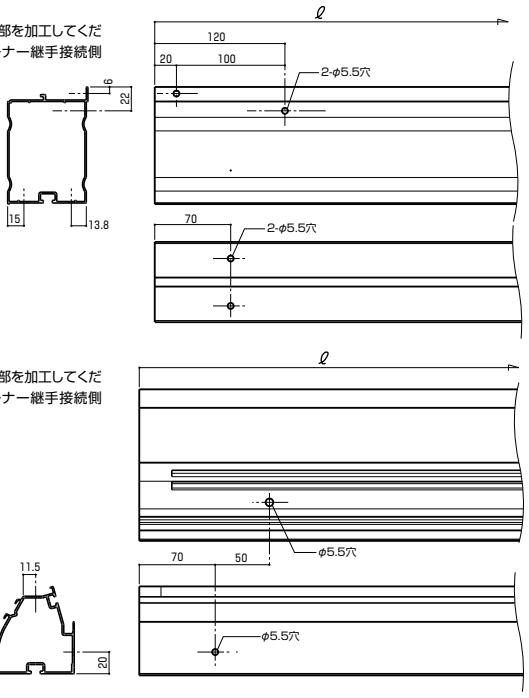
※はV溝位置になります

●入隅棟木カバー(出幅3尺、5尺の場合)



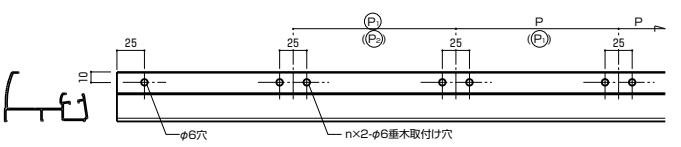
注)垂木がけ側から切り詰めてください。
ってください。

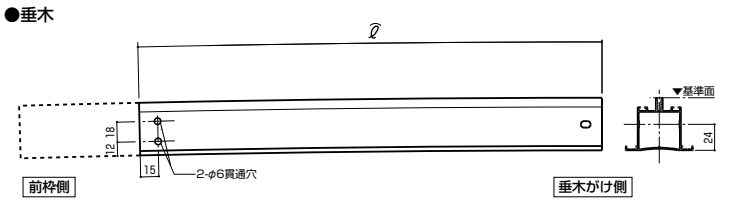
●けた
注)勝手違いは、逆端部を加工してください。加工はコーナー継手接続側のみです。



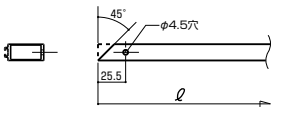
●前枠
注)勝手違いは、逆端部を加工してください。加工はコーナー継手接続側のみです。

●垂木掛け
注)・勝手違いは逆端部を加工してください。
・関東間4尺の場合、入隅部垂木ピッチ Ⓟ1 は関西間ピッチ（820）ですので、これに従い、垂木がけの穴あけを行ってください。

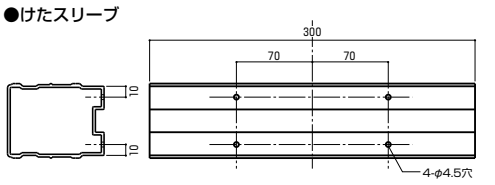


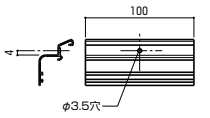
●垂木


注)・前枠側から切り詰めてください。
・先付けビードを抜き取ってから、加工してください。
・ℓ寸法は図中の基準面を計測してください。

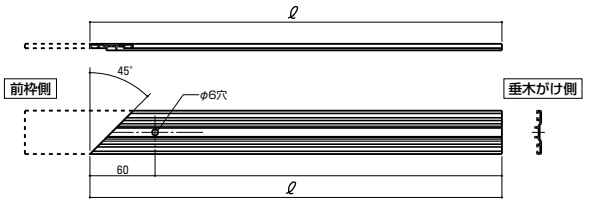
●野縁


注)勝手違いは、対称加工してください。

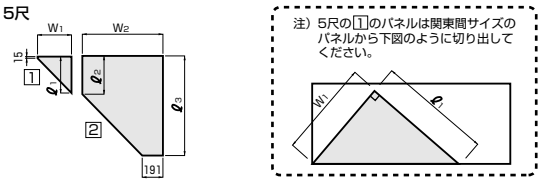
●けたスリーブ


●パネルカバー


●屋根材カバー
注)前枠側から切り詰めてください。
勝手違いは対称加工してください。



●屋根パネル寸法
●3・4・5尺

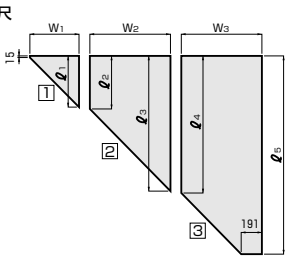


単位:mm

	3尺 W1	3尺 ℓ1	3尺 W2	3尺 ℓ2	3尺 ℓ3	4尺 W1	4尺 ℓ1	4尺 W2	4尺 ℓ2	4尺 ℓ3	5尺 W1	5尺 ℓ1	5尺 W2	5尺 ℓ2	5尺 ℓ3
関東間	313	335.5	743	353	918.5	553	579	803	597	1222.5	913	944.5	743	962	1525.5
関西間 九州四国間	253	274	803	291.5	918.5	553	579	803	597	1222.5	853	883	803	900	1525.5

注) 関東間4尺のパネル2は地方間用から切断します。

●6尺



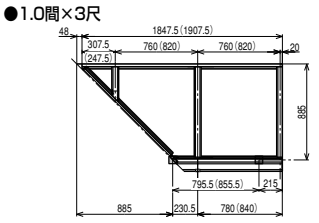
単位:mm

	6尺 W1	6尺 ℓ1	6尺 W2	6尺 ℓ2	6尺 ℓ3	6尺 W3	6尺 ℓ4	6尺 ℓ5
関東間	453	472	743	489	1246.5	743	1264	1827.5
関西間 九州四国間	333	350.5	803	368	1185	803	1202.5	1827.5

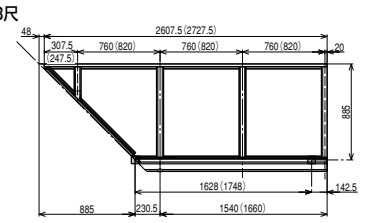
注) 関東間6尺のパネル3は地方間用から切断します。

■姿図

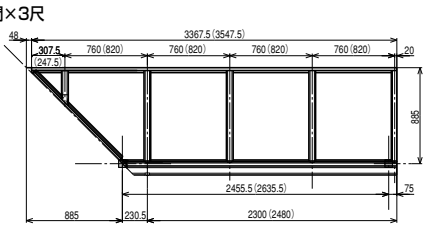
●1.0間×3尺



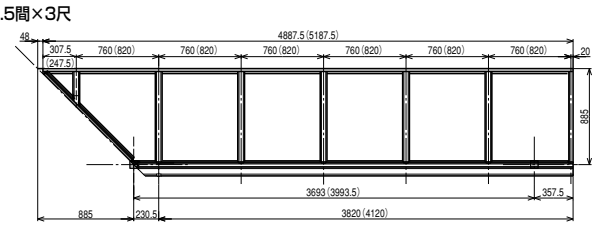
●1.5間×3尺



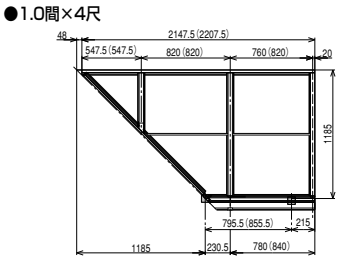
●2.0間×3尺



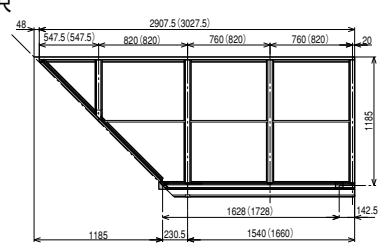
●2.5間×3尺



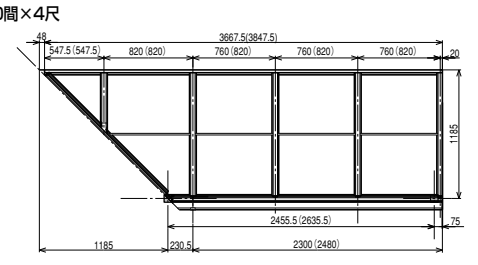
●1.0間×4尺



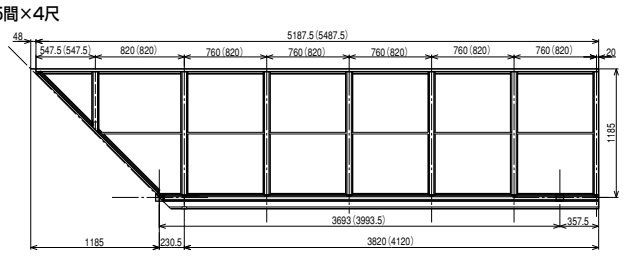
●1.5間×4尺



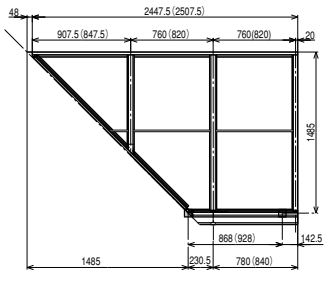
●2.0間×4尺



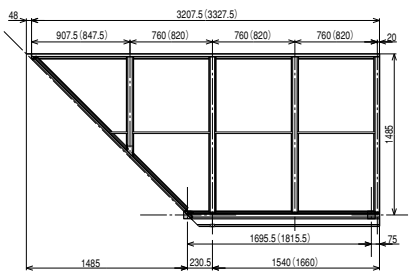
●2.5間×4尺



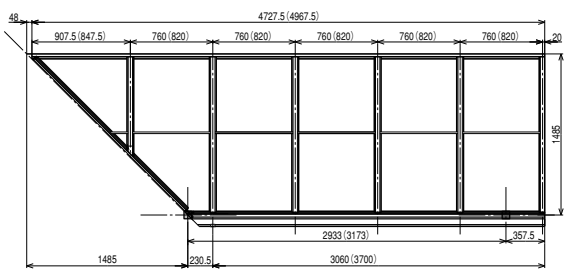
●1.5間×5尺



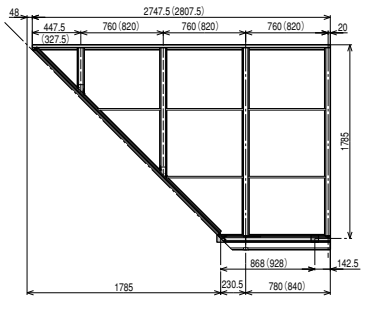
●2.0間×5尺



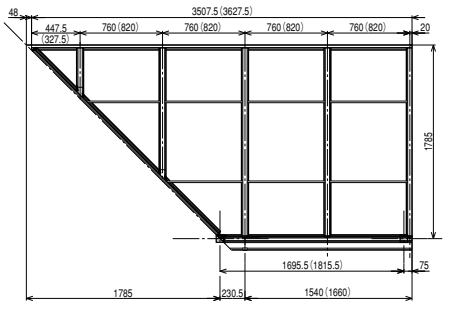
●2.5間×5尺



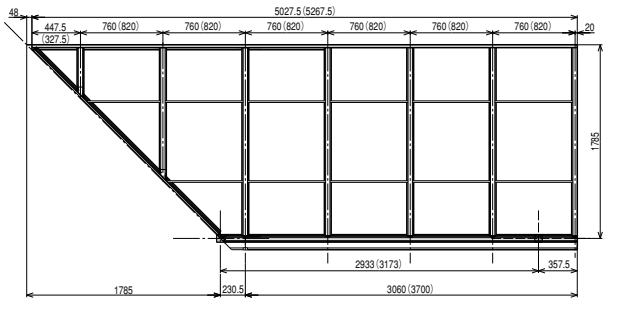
●1.5間×6尺



●2.0間×6尺

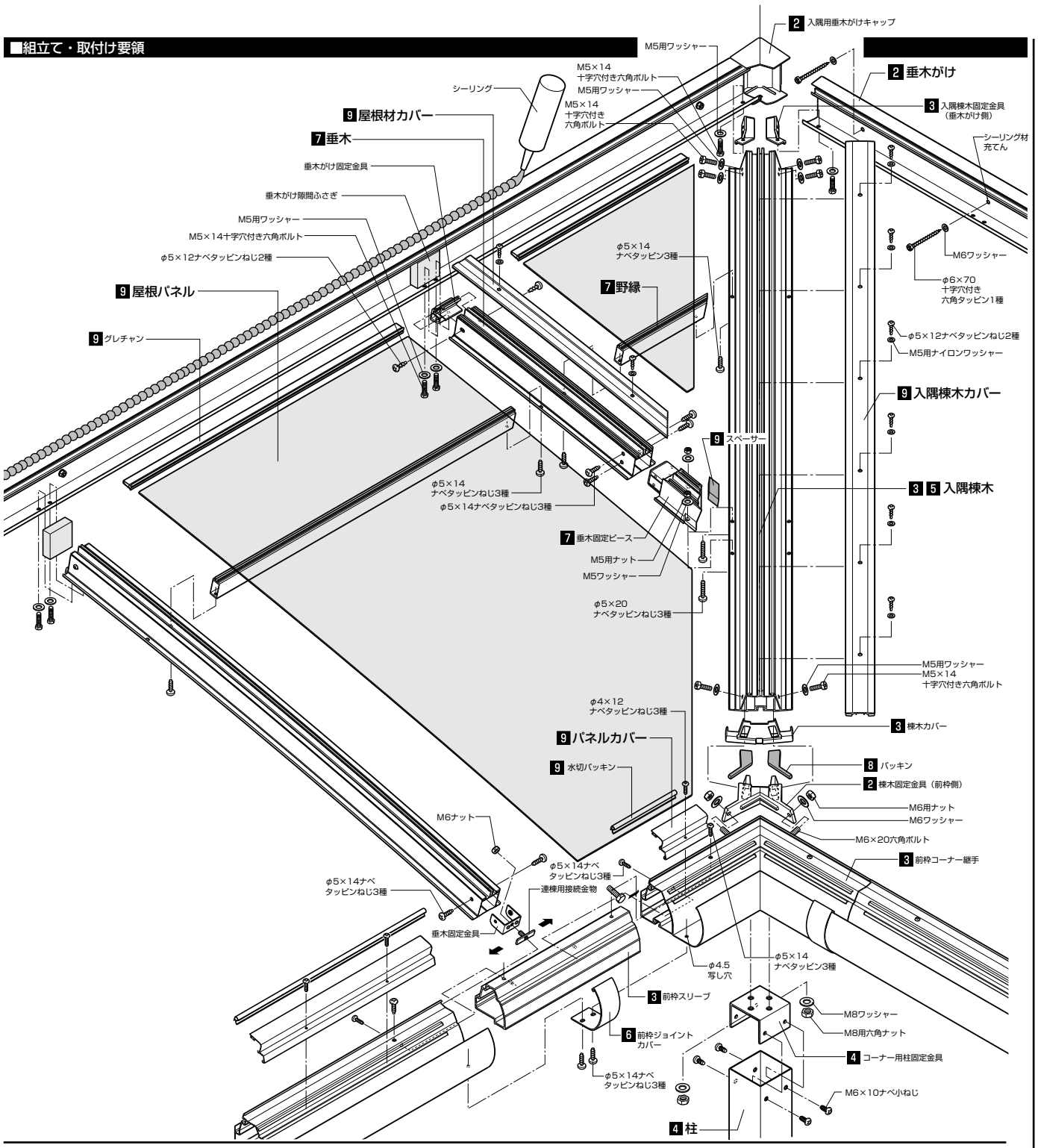


●2.5間×6尺



注1)(　)内は、関西間・九州四国間をベースに組み立てる場合を示します。
注2)前枠コーナー継手と前枠の継ぎ目には、必ず垂木を取り付けてください。

■組立て・取付け要領



1 柱位置の墨出し・基礎穴掘り

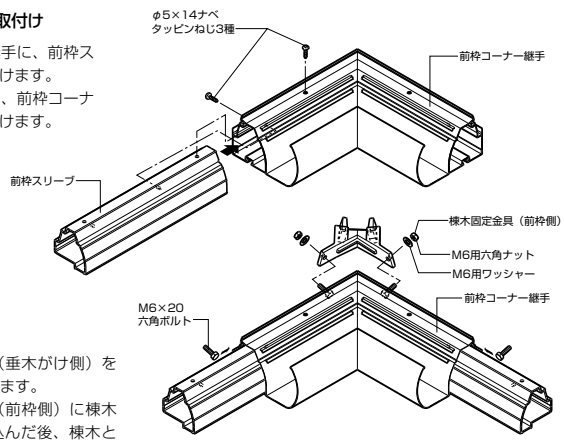
姿図より、柱埋め込み位置を出し、基礎穴を掘ってください。

2 垂木がけの取付け

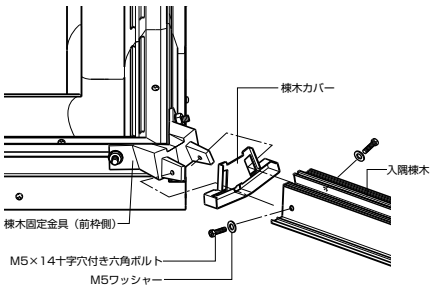
①入隅用垂木がけキャップの下端を「垂木がけ取付け下端寸法ー2mm」の位置に合わせて仮固定し、それに合わせて、垂木がけを取り付けます。その際、必ず水準器で水平を出してください。
②躯体と垂木がけの透き間にシーリングしてください。
※垂木がけは必ず躯体の柱・間柱など構造材に取り付けてください。コーナー部は、特に確実に取り付けてください。

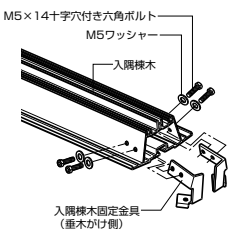
3 棟木への部品取付け

①前枠コーナー継手に、前枠スリーブを取り付けます。
②棟木固定金具を、前枠コーナー継手に取り付けます。



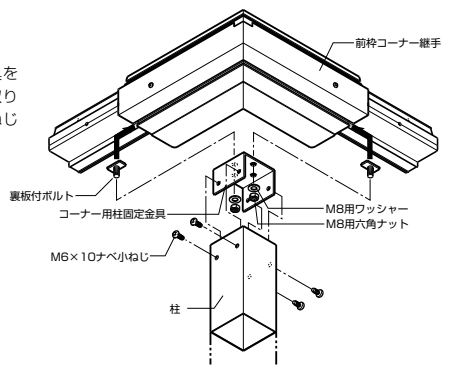
③棟木固定金具（垂木がけ側）を棟木に取り付けます。
棟木固定金具（前枠側）に棟木カバーをはめ込んだ後、棟木と固定します。



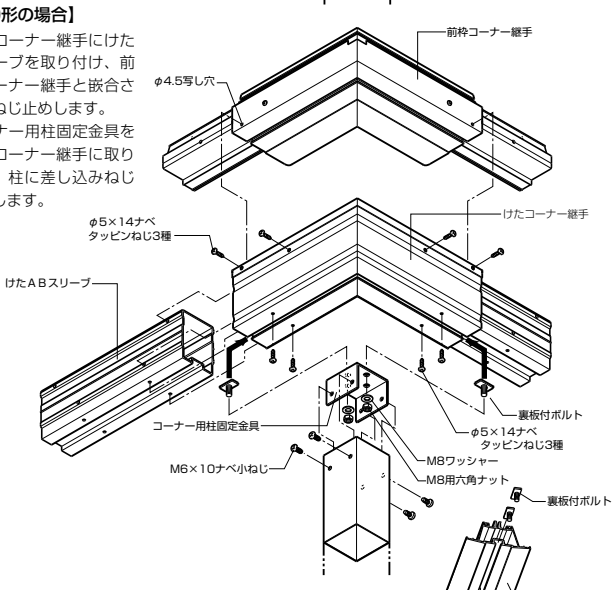


4 柱の取付け

【600形の場合】
●コーナー用柱固定金具を前枠コーナー継手に取り付け、柱に差し込みねじ止めします。



【1500形の場合】
●けたコーナー継手にけたスリーブを取り付け、前枠コーナー継手と嵌合させてねじ止めします。
●コーナー用柱固定金具をけたコーナー継手に取り付け、柱に差し込みねじ止めします。



5 棟木と垂木がけの接続

●棟木を垂木がけに取り付けます。
穴が合わない場合には、入隅用棟木固定金具を固定しているねじをゆるめて、調整しながら取り付けてください。

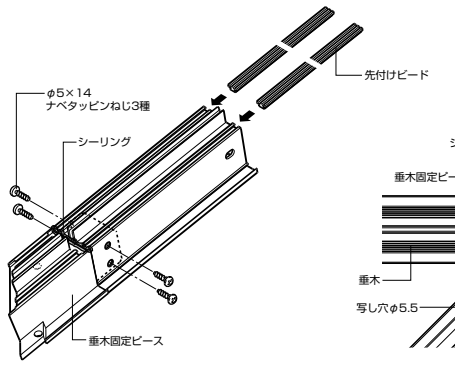
6 前枠の取付け

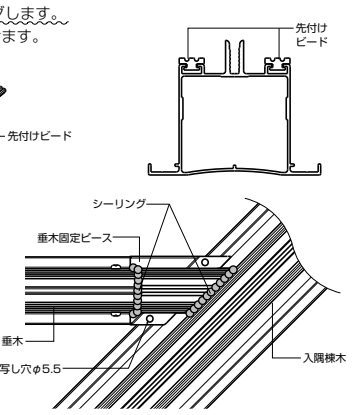
【600形の場合】
●前枠の端部に柱を取り付け、前枠コーナー継手と接続します。
●前枠コーナー継手と前枠の継ぎ目に前枠ジョイントカバーを取り付けます。

【1500形の場合】
●けたの端部に柱を取り付け、けたコーナー継手と接続します。
●前枠コーナー継手と前枠を接続し、けたの穴に合わせて前枠に写し穴φ4.5をあけてねじ止めします。
●前枠コーナー継手と前枠の継ぎ目に前枠ジョイントカバーを取り付けます。

7 垂木・野縁の取付け

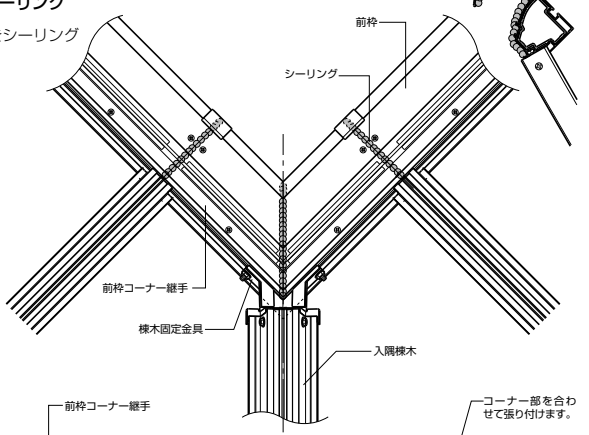
●先付けビードを抜き取った垂木を加工し、垂木固定ピースを取り付けます。
●垂木と垂木固定ピースのジョイント部をシーリングします。
●抜きとっておいた先付けビードをビードホールに差し込み、垂木固定ピース端末に合わせて、切断します。
●垂木固定ピースの穴に合わせて、棟木に写し穴φ5.5をあけて取り付けます。
●棟木と垂木固定ピースのジョイント部をシーリングします。
●野縁は、棟木にφ5.5の取付け穴をあけて取り付けます。

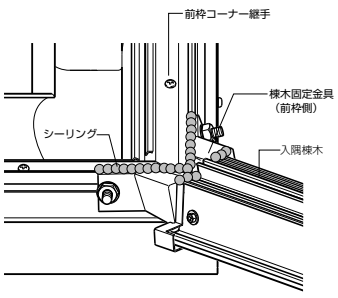


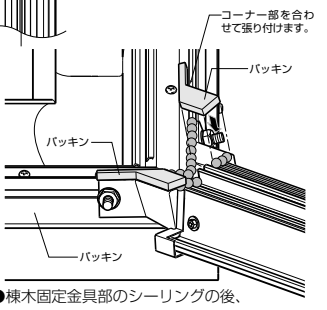


8 前枠雨樋部のシーリング

●図に示した個所をシーリングしてください。



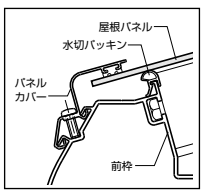




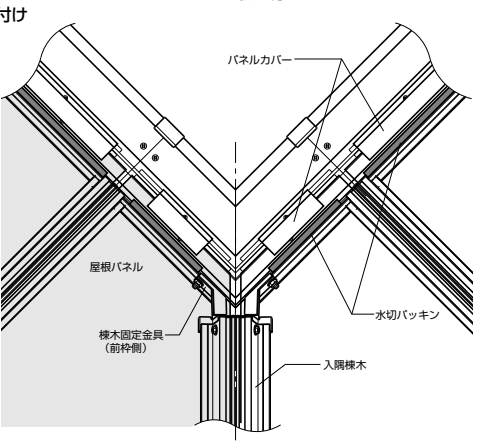
●棟木固定金具部のシーリングの後、パッキンを張り付けます。

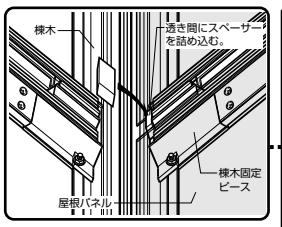
9 屋根パネル・棟木カバーの取付け

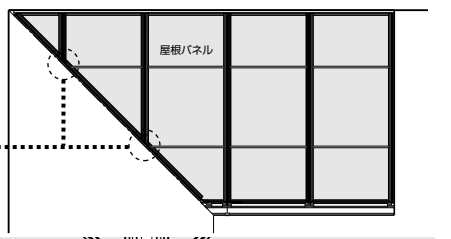
●前枠にパネルカバー・水切パッキンを取り付けます。(長い場合は、適当な長さに切断します。)



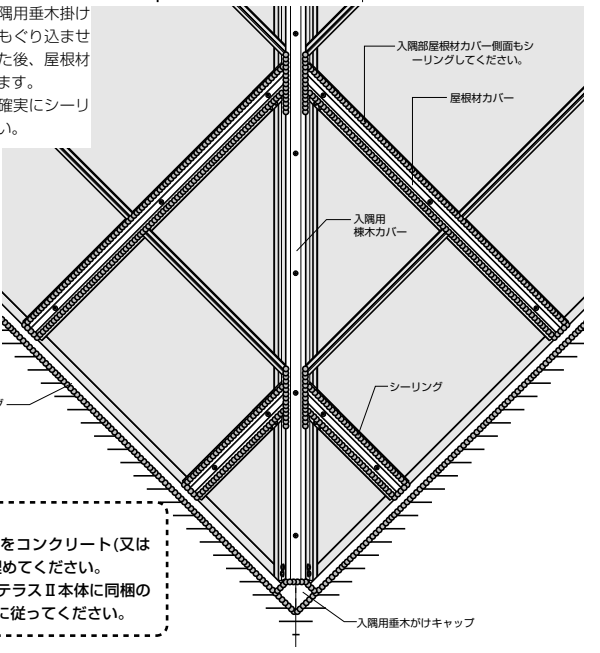
●グレチャンを屋根パネルに付け、垂木がけ及びパネルカバーに取り付けます。
●入隅部の屋根パネル、棟木、垂木固定ピースの透き間にスペーサーを詰め込みます。



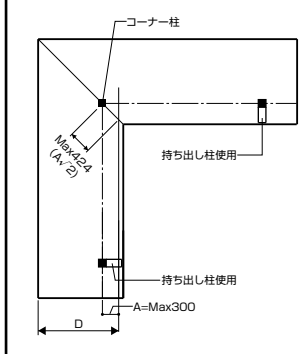
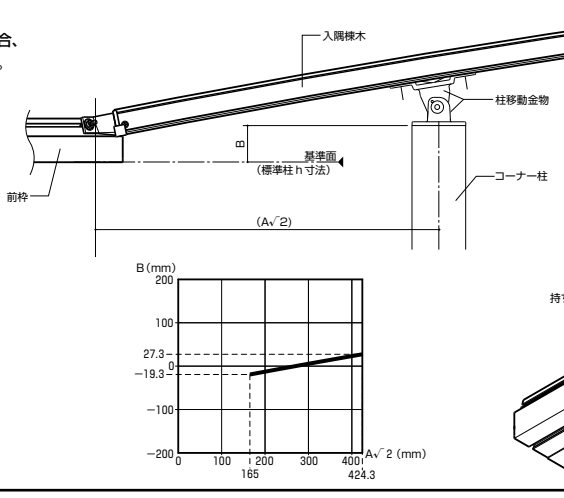
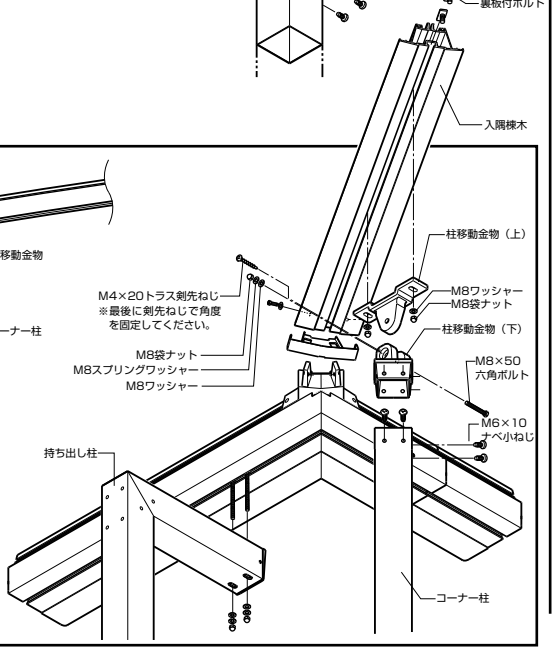




●棟木カバーを入隅用垂木掛けキャップの下にもぐり込ませて、ねじ止めした後、屋根材カバーを取付けます。
●右図指定部位を確実にシーリングしてください。



●柱基礎
●柱埋め込み穴をコンクリート(又はモルタル)で埋めてください。
●詳細はレーネテラスⅡ本体に同梱の取付け説明書に従ってください。

■コーナー柱移動の場合

注)1500形及び間口2.5間ベースで組立てる場合、柱移動はできませんので、ご注意ください。